廿五日夕刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

研町、古鍛冶兩町の排水溝改修運動
木澤區長以下奮起し先づ町長と知事に陳情

平町字古鍛冶町並に研町附近は高臺の直下に在るため降雨毎に高臺方面の水は全部兩町に流れ込むため小雨でも濁水が街路に汎濫し殆んど通行杜絶する有樣で之は排水溝が不完全の結果であると、その改修は早くから區民間に叫ばれてゐた問題であつたが、今回第二區研古區長木澤常松氏は區民の專望を容れて自ら奮起し改修促進運動を起す事となり二十五日左の如き陳情書を平町長並に縣知事に提出した

平町字古鍛冶平及研町は地形上他町より高臺に在るに拘はらず近來は少雨にも街道に濁水氾濫し從つて家屋に浸水し水勢年毎に甚しく增加し雨中は通行杜絶の狀態、凡て平町に類なき雨毎に街道上に多大なる破壞の程度を見ても照明する如く爾來區民として傍觀の苦痛に堪へざる窮境に當面しつゝある次第、是れは下水溝渠の不備に依る處なれども巾三尺に充さる古鍛冶町及研町の迂回に〳〵したる下水溝渠を水源地としては八幡小路舊グランド方部及平第一第一小學校、縣社子鍬倉神社、良善寺、菩提院、平火葬場、平公園等の各五十米突余の高地点の大敷地より一方口の小溝渠に流し込むは不合理も甚しき次第、爲めに古鍛冶町鐵道踏切下の暗橋下水附近の場所は降雨毎に四方よりの流水に大氾濫を生じ年々蒙る其の損害筆紙に盡し難し、最早や吾々區民として到底座觀するに忍びず候條水源地御調査の上別紙の個所改造收築相成度略圖御添へ此段及陳情候也

平町第一區
區長　木澤常松
區民　一同
町長　殿

石炭運賃値下げ陳情團上京
廿五日比佐代議士が案内

石炭運賃の値下に就いては過般石城郡町村長會で鐵道省へ大々的の運動を行ふ事となり政民兩派もこれに參加し地元選出代議士と同道する筈であつた事は既報の如く左記委員は二十四日上京二十五日比佐代議士等の案内で陳情する筈である。

鈴木小名濱町長、野木内郷村長、小泉湯本町長、大平勿來町長、萩原義雄（民政支部代表）、井上茂作、政友支部代表）

產業組合で米價對策協議

產業組合石城郡部會では二十八日午前十時から各種團体事務所に於て米價對策協議會を開くが協議事項左の如くである。

▲籾販藏に關する件
▲玄米平均賣に關する件
▲米價金融に關する件

▲金房村助役

相馬郡金房村助役に村議飯崎善雄氏を推薦した。

同潤會生る
會長は青沼氏

平町に於ける共濟委員及び善華會員其他篤志者は今回共濟委員設置規定の趣旨により平町同潤會を組織したが、役員左の如く決定した。

▲會長青沼鋒太郎、副會長遠藤心光、評議員桐原英純、外六名、▲幹事近藤德勝外一名

▲平陪審院抽籤

平町の陪審委員候補者抽籤は二十七日午前十時から同町役場會議室において行ふ委員は二十六名で當日の立會人左の如し

▲井上茂作、荒川清次郎、青沼鋒太郎、柳下元吉、猪狩庄平

最近激增した小學兒童の納豆賣
教育上面白くない……と内郷村で對策講究

最近納豆の需要期になつたので石城地方殊に内郷村宮、綴、御厩地内の小學兒童六十余名は家庭生活の補助や授業料等の幾分の補助をなすべく平、湯本町に入り込み販賣してゐるが、兒童の健康は勿論のこと學業の成績にも至大の關係を及ぼすので各學校では教育上面白からざる問題として目下對策を講究中である。

▲納稅表彰式

石城郡小名濱町では二十九日午前十時より同町小學校講堂において納稅表彰式を擧行する表彰される組合及び納稅者左の如し

小名濱町藤社大一、飯塚亥之助、鈴木由藏、鈴木駒次郎、佐川森彌、草野增之助、小名町ワ組納稅組合、今井組、ノ組、エ組

泉村の志賀氏表彰さる

石城郡泉村大字玉露志賀擇之助（五七）は農事功勞者として明二十六日大日本帝國農會總裁梨本宮殿下より表彰さるゝ事となつた、郡下では唯一人で縣下にも亦極めて多くない事とて大なる名譽を負つた氏は農事實行組合建設者たる外農事研究會の提唱者で又共共同田植等も郡下の卒先をなしてをり殊にメロン栽培等は福島メロンとして東京市場に聲價をあげてゐる程で氏の若年時代は同玉露部落は墮農が多く生活狀態も甚だ豊でなかつたものが氏の熱誠に動かされて現在では同部落も模範的な精製家揃ひとなつてゐる、右の如く農事改良に關しては眞の篤農家で今回表彰さるゝ事となつたものである。

▲平署遺失物

不景氣風の吹き捲く今日この頃平警察署管内に於ける落し物は去る十月二十二日同町管野はるよが看護婦學校前で拾得した現金二百七十圓を始めとして本年一月以來今日までの届出番號は三百二十十六件を數へ平驛の忘れ物も百二十八点の多額に上つてゐるが忘れ主落し主の届出が少く期間が切れては拾得者に下附になるものが多いが世智辛い今日珍らしい現像である。

隈畔の天地に磐中同窓會設立
二十三日發會式
校歌を合唱して散會

縣立磐城中學校出身福島在住者を以て同窓會支部創設の發起人會を兼ての發會式は二十三日午後五時開會出席者は濱島高商教授、大森福島モーター常務、渡邊、千葉兩縣視學、新妻地方屬荒川福島民友記者の六氏で、發起人會長千葉右近氏を座長に推し創立發起人會に入り役員選擧の結果

▲顧問福島商業教諭鈴木清、▲會長高商教諭濱島操▲副會長福島モーター常務大森義一氏を推し正、副會長に交渉の結果快諾を得たので會長濱島氏座長席につき會の名稱を「磐揚會」とし會則を制定し更に會長指名に依り

▲幹事長千葉右近▲幹事渡邊壽重、同新妻一郎、同佐藤一郎、同吉田忠衛、同齋藤要、同同小野賢次郎、同齋藤要、同赤津傳、同荒垣長次郎、同荒川洋

諸氏就任發會式を終りそれより北藝蔭妓連の斡旋で酒宴に移り各々そのかくし藝を遺憾なく發揮し同窓の親交を深からしめ時移るも歡はつきず卓をたゝいて母校の校歌を合唱し乍ら午後十時過ぎ散會した。

▲兵事主任會

相馬郡南部二町七ヶ村兵事主任會は二十七日原町署に開催、徵兵事務打合せを行ふと。

鮫川堰水利事業
（一）三十余年前回顧記

過去卅有四ヶ年にローマの古城を望むが如き廢虛に歸した延々實に二町四ヶ村に亘る水路を抱き塗炭の辛苦をなめつゝも復活へ！復活へ！と邁進を續けて來た鮫川堰農業水利業事は地元古川縣議の熱誠なる運動と小柳知事の努力鮫川電力會社の好意により昭和六年度より四ヶ年繼續總工費卅八萬圓を以て工事施行されることになり、今回議會に提案されるに至つた。

今茲に卅有余年に遡り疏水史の第一頁より縣の事業計劃にいたる經濟につき古川縣議の談を骨子としてみやう。□

抑も石城郡上遠野、植田、渡邊泉、玉川、小名濱の二百四ヶ村に亘る地域は頗る肥沃なる田野を有するも灌漑水の不足に加へ鮫川、藤原川等の氾濫により水田は悉く荒野と化し、農耕を業とする地方民の經濟は逼迫を告げ、父祖傳來の耕地を捨て他に轉住するもの續出し、日を逐ふて滅び行く窮狀に心あるものは齊しく之が對策に腐心し來たつたのである

當時石城郡長相原資吉氏また此の慘狀を親しく視察し悲痛なる農民の叫びを聽き慨然として曰く

今にして之が打開の途を講せずんば舊菊多郡の潰滅も豈遠き日ならんや

斯くして相原郡長の奔走により明治卅年鮫川水路既成同盟會は組織され、同氏を會長として着々その準備は進み、翌明治卅一年五月廿六日付を以て時の福島縣知事山田春三氏の認可を得て總工費廿萬七千余圓、四ヶ年繼續事業として工事を起すことになり卅二年十二月卅一日を以て盛大なる起工式が擧行されるに至つた古老の談によれば關係地域民は悉く

最早や我々は苦しむの必要はない父祖傳來の耕地は無限の寶庫と化するであらうと歡喜雀躍、起工式當日の如きは軒毎に國旗は飜り歡喜歳野に充ち、地方空前の殷賑を呈したとの事で、これを以てしても當時の地方民の眞情が察知し得られるであらう。

平町の僧侶が貧困者救濟の計劃

托鉢して資金を造る

石城郡共濟委員會では二十四日午後六時から平町役場内に平町在住各宗寺院住職廿余名の會同を求めて

歳末も近づいた折柄貧困者救濟の資金に充てたいから各住職一同十二月初旬三日間位托鉢をなし集め得た淨財を寄附して欲しい

と懇談したが共濟委員の意向としては右の資金は從來のやうに米や餅を與へる以外小額ながらも商賣の資本にでも貸付けて職を與へる途を講じたいといつてゐる。

娘一人で列車が停車

二十三日午後三時五十五分常磐線泉、湯本驛間線路内を石城郡磐崎村小野田松本かね（一七）及び同所鈴木よしの（一七）の二名が通行し折柄進行して來た第二百二十一列車に氣つかぬ体なので一分間停車した。

▲脅喝事件判決

石城郡小名濱町常磐新聞記者伊藤隆治に對する脅喝被告事件の控訴公判は二十四日福島地方裁判所に小野村裁判所係で開延、前審通り實刑十ヶ月を言渡された。

▲娘の説諭願

群馬縣前橋市田中町一一七猿谷喜作の娘梅原タツは去る九月青柳金八と手を携へ石城郡内郷村大字宮磐城炭礦に來たが喜作は老衰してゐる上過般居宅が燒失したので娘に歸宅するやう前橋署に説諭方を願ひ出でゐたが歸宅せぬので旅費として金四圓を封入娘に歸るやうに説諭して貰ひ度いと平署に願ひ出でた。

相馬支局通信

▲原町驛の成績

原町驛に於ける最近の成績を聞くに昨年十月と本年十月との比較は左の如くである

昭和四年十月の乘車人員は二萬〇三百二人その料金九千六百九十五圓八十四錢なるに本年十月は人員一萬五千九百二十九人で料金は六千七百七十圓二十六錢、人員に於て四千三百七十三人減、料金で二千九百二十五圓九十八錢の減を示し、小荷物發送は昨年同期に千四百十二ヶ料金七百二十一圓六十七錢、本年十月は千百ヶで三百十二ヶ減料金は五百二十六圓五十七錢で二百〇五圓十錢の減、貨物發送は昨年四千二百二十二噸その運賃一萬〇三十二圓十七錢なるに本年十月は千三百九十五噸で二千八百二十七噸減、運賃は七千〇四十五圓三十九錢で二千九百八十六圓七十八錢である

▲産米檢査協議會

相馬郡農會並に郡米穀同業組合の役員は二十七日原町鷲業取締所に産米檢査及共同販賣に關する協議會を開く。

▲校長會議

相馬郡北部十六校小學校長會議は二十八日駒ヶ峯校に開催すると。

▲八澤校品評會

相馬郡八澤小學校農産品評會は二十四、二十五の兩日開催大盛會であつた。同郡新地小學校は二十五日開催した。

▲郵便取扱所新設

曩に相馬郡飯豊村に新設され二十一日開始したが今回同郡山上村にも新設する事となり來月六日開所と決定し同所長は荒精一氏に内定。

平町人事

▲出生　三丁目當時東京府下荏原郡碑衾町西牧孫介三女昭

▲婚姻　泉村字下川江尻信孝（三〇）一丁目野上龜太郎三女政子（二一）

佛國マルソー會社元詰
酒葡萄生
マルソー・ブランク・白
マルソー・ルージ・赤　ℱ1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

胃腸　内科　專門　十二指腸虫病
梅毒　淋病　婦人病　專門　皮膚病
松村胃性腸病科醫院
平町南町（電話一〇七）

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

急募
營業部員一名至急募集
希望者は午前九時から正午までの間御來談あれ
平町字紺屋町
磐城調査新報社
電話四九六番

家庭圓滿御健康の秘訣
▲家庭圓滿は御臺所の經濟から!!!
美味で―安價で―滋養と言へば
何時でも豆で丈夫な
折詰日の出納豆を召せ
▲東京方面その他の御進物は特に勉強
御電話があれば一個でも配達致します
一個八錢
佐藤善次郎商店
電話三七四番

吉田眼科病院
平町紺屋町
電話六八番

謹啓
孫美勢子葬儀に際しては御叮重なる御香奠を賜はり且つ御會葬被成下誠に難有茲に乍畧儀御厚禮申上候
十一月廿五日
平町三丁目
小野伊佐治

BISHINGAN
子宮座藥　美神丸
一日藥價僅か五錢の自宅療治
安價・簡便・卓効・秘密の四つ揃つた理想藥です

◎こんな徴候の人々は一時も早く治療すべきです
●血帶下、赤帶下、コシケ多き人●下腹痛く筋張り又はつる人●子宮冷込、腰脚の冷え又は痺れる人●月經不順月經時に腹の痛む人●神經衰弱、ヒステリーの人●月經時の前後に白粘つたこしけが下る人●子宮麻毒尿意頻の人●子宮痒く糜爛出血する人●局部惡臭かゆき人●逆上頭痛、耳鳴、眩暈する人●肩が凝又は背が痛む人●流産早産する人
定價　一週分・四〇　二週分・八〇　五週分一・八〇　十週分三・五〇
代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

急性・慢性を問はず
淋疾は立派に全治す
（一）淋疾尿道炎、（二）消渇、（三）膀胱カタルには驚く可き効目がある
高級治淋新藥　トリプチン　一圓　二圓　三圓
特約店　大平屋藥店
電話六四二番